

銅合金の鑄鍛造メーカーである三芳合金工業（本社・埼玉県三芳町、社長・萩野茂雄氏）は9日、工場倉庫を改装した特設ステージで「第1回みよしの森音楽堂・クラシックコンサート」を開催した。バイオリン2人・ヴィオラ・チェロで構成される弦楽四重奏Ⅱ写真Ⅱで、ハイドンやモーツァルトなどの曲目を披露。会場は立ち見も出る盛況ぶり、従業員や家族など200人以上が世界的に活躍する音楽家の音色に聞き入った。

## 三芳合金が「コンサート」



### 倉庫特設会場に弦楽四重奏

音楽堂の看板や演奏台から当日の演習作業までイベントは全て手作り。就業後にイスや舞台といったより演奏がしやすい環境づくりなどで打ち合わせを重ね準備を進めた。当日は予想をはるかに上回る参加人数。クラシックだけだけでなく小さな音楽堂の看板や演奏台からのトトロの「さんぽ」が演奏されたほか、アンコールでは童謡「ふるさ」とを全員で合唱した。終演後はスタンディング・オベーションで第1回目の音楽会は成功に終わった。

萩野源次郎取締役は「従業員や家族に、これまでにない形で日ごろの感謝を表したかった」と話している。来年も音楽

会を開く考え。次回は地域にも広く開放していく。